

NIFAアクションプラン2022→2026	全体	頁中の頁
1. 現状の概要と今後の方向性		地区協会 医学委員会 連盟
<p>アクションプラン2018→2022での目標を以下の4項目として活動を行ってきた</p> <ol style="list-style-type: none"> 1: 外傷・障害の治療 2: 外傷・障害の予防 3: 大会、行事の医事運営 4: 競技力向上、健康増進への科学的エビデンスの構築 <p>活動において、目標達成への最大の問題点は人的課題（マンパワー不足）であると認識している。</p> <p>2022年における現状</p> <p>123に対しては、2013年度から2つの部会（ドクター、トレーナー）で活動してきたが、2021年度より看護師部会を正式に発足させ、2022年度11月現在で、医学委員会はドクター20名、トレーナー部会は26名、看護師部会は9名を登録、増員し活動に当たっている。これにより、各種大会での医療サポート体制が改善し、外傷・障害の治療や予防に貢献できていると考えている。</p> <p>4に関しては各病院や新潟大学整形外科の膝スポーツ医学研究班により研究活動が行われてきている。今後は、これまでと同様に1～4の目標を達成するために、下記に示すような活動を行っていく予定である。</p> <p>2022年目標の対しての達成度については、委員の増加、看護師部会の発足などを踏まえて、要請のあった各種大会での医事運営や国体チームなどへの帯同は概ね達成されていると考えられる。80%程度。現状で、啓発活動のためのHPの作成も進行している。</p>		

NIFAアクションプラン2022→2026	全体	頁中の頁
2. 中期目標（2030年）		地区協会 医学委員会 連盟
<ol style="list-style-type: none"> 1: スポーツ外傷・障害の治療 新潟県内のサッカー関連の医療施設ネットワークを利用して適切な治療を受けることができる。 2: スポーツ外傷・障害の予防 医学委員会のメンバー（医師およびトレーナー）による選手、指導者への啓発活動を行う。また、協会のホームページから外傷・障害予防についての知識を学ぶことができる。 3: 大会、行事の医事運営 医療サポートの要請に十分に対応できるように、医学委員会メンバーを逐次追加・更新して維持していく。 4: 競技力向上、健康増進への科学的エビデンスの構築 スポーツ外傷・障害の発生状況についての調査を行い分析する。 		

NIFAアクションプラン2022→2026	全体	頁中の頁
3. 長期目標（2050年）		地区協会 医学委員会 連盟
<p>医療の進歩、ITの活用により、2050年には現在よりもさらに進んだ医学的アプローチが可能となると予測される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1: スポーツ外傷・障害の治療、および2: スポーツ外傷・障害の予防 <p>再生医療など先進の医療を行うことにより、より早期の完全なスポーツ復帰が可能となるよう、新潟県内の医療環境を整えつつ、その医療資源を新潟県内のサッカーファミリーが使えるように情報提供を行う。また、各医療機関の電子カルテ情報が一元化されると予想されるため、ビックデータを用いて新潟県内のサッカーにおける外傷・障害について情報の管理ができるようになると予想される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 3: 大会、行事の医事運営 <p>現場対応とそれを統括する部門がIT環境の進歩によりリアルタイムで情報を共有できるようになると予想されるため、現場での問題を速やかに解決する方針を決定しやすくなるシステムが構築できると考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> 4: 競技力向上、健康増進への科学的エビデンスの構築 <p>全国で統一化されるであろう外傷・障害の予防、治療programが取り入れられるようになり、医療資源が（今後も含めて）かならずしも潤沢とはいえない新潟県においても、関東や関西と遜色のない医学のバックアップが可能になる。</p>		

4. 現状分析

地区協会
医学委員会
連盟

No. と 事項	2026年具体的目標	2022年における現状	達成度	目標達成へ向けての課題	改善の方策
1. 普及	協会員への医学的知識の拡大	協会HPにおける情報発信を開始	70%	(作成側) 時間をかけて吟味した内容を提示 (協会員より) 希望する内容を教えていただく	急がずに適切な内容を
2. 育成	ドクター、トレーナー、看護師ともに 適切な部会員を確保し続ける	増員は良好に進んでいる	90%	引き続き関わられる部会員を募集	関係者、後輩を適宜育成
6. トップ リーグ	引き続きアルビレックスのサポート 男子トップ・ユース、女子など	複数の医師、トレーナー、看護師が良好に関与	90%	若手の育成もすすめる	関係者、後輩を適宜育成
7. 競技会 運営	多くの大会、選抜チームの活動をサポー	要請には応じることができている 直前の依頼には担当者の選抜に難航	90%	予定を早くおしえていただく チームサポートについては、継続性	関係者、後輩を適宜育成 大会予定の早期の周知を依頼
事項番号と見出し	事項の中での具体的な目標 明確に、可能であれば数値で	2026年目標に向けての2022年での現状 達成度の%表記を右欄へ記入→	%表記	目標達成のために解決すべき課題	課題を解決、改善のための方策の概要

NIFAアクションプラン2022→2026				全体	頁中の	頁
5. 具体的アクション					医学委員会 連盟 地区協会	
No.	誰が	いつ・いつまでに	どこで	何を	どのように	
1. 普及	山際、大森など	2-3年を目処		協会HP上で	医学情報を発信	
2. 育成	各部会員	継続的に	各職場にて	新規の部会員を	加入、育成をすすめる	
6. トップリーグ	部会員の一部	継続的に	各チームにおいて	トップリーグを維持できる	医学的サポートを継続	
7. 競技会運営	部会員全員	継続的に	各競技会において	スムーズな医事サポート	継続してトラブルなくすすめる	
↑現状分析での事項No. に対応。複数の事項にまたがって、一つの事業で対応することも可能です						